

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2006.6.11 №3

北海道ボランティア・レンジャー協議会

クサノオウ

タンポポの花にかわって黄色の4枚の花びらが十字にクロスするクサノオウを観察することができます。葉の裏や茎に白い毛があります。ケシ科の二年草で、芽を出した年には花は咲かず翌年花を咲かせます。葉をちぎったり、茎を折ると、黄色い汁がでてきます。春のこの時期の有毒植物の一つで、多くのアルカロイドを含み、誤って口に入れると痙攣を起こし呼吸麻痺に陥ります。漢方では白屈菜の名で生薬とし処方されていて、胃癌で倒れた明治の文豪尾崎紅葉が、痛みを抑えるためにこれを使用した話は有名です。

かつては、民間療法として黄色い汁を、イボ取りや皮膚病、虫刺されの治療に用いられたと言われていて、瘡(くさ)つまり、できものによくきくから「瘡の王」と名づけられたともいいます。

クサノオウをアイヌ語では「オトンブイキナ」といい、「肛門・草」の意味があり痔の治療に使ったとも言われています。北海道の方言で痔のことを、ガッチャキというそうですが、語源はアイヌ語のカッチャキ（健康状態を失う）からきていて、本来虚弱を意味したものが、もっぱら痔疾の名に置き換えられ使われたようです。



託卵

カッコウの鳴き声を聞くと初夏の訪れを感じます。この鳥は他の鳥に子どもを育てさせる習性があり、この習性を「託卵」といい、ツツドリやジュウイチも同じ習性があります。

カッコウの託卵相手は、ホオジロ、オオヨシキリ、モズ、セキレイなど28種が報告されていますが、相手の鳥の巣から卵を1~2個抜き取って、もともとその場所にあったかのように自分の卵を産み込みます。カッコウの卵は、巣の持ち主の卵より先に孵ります。孵ったヒナは巣の中にあるほかの卵を背中に乗せて外へ放り出してしまいます。こうしてカッコウのヒナは巣も仮親が運んでくる餌も独占して育っていきます。（参考：鳥の雑学辞典 日本実業出版社）

観察会情報

●初夏の森観察会 7月9日（日） 10:00~12:30 大沢口 ふれあい交流館

オオウバユリの茎が伸び先端につぼみが見られます。また、天気がよいと、エゾハルゼミの鳴き声や抜け殻が見られます。若葉の森をゆったりと歩きましょう。

●芸術の森周辺観察会 7月23日（日） 10:00~12:00 芸術の森入り口停留所

芸術の森周辺や真駒内川の流れを見ながらの観察会です。観察会終了後は、芸術観賞をするのも楽しいですね。（問い合わせ：ボラレン事務局 春日町881-4090）

種子植物、シダ植物、コケ植物、地衣類、つくりの違い

私たちが森の中を歩いていると、さまざまな種子植物やシダ植物を目にして、種を同定したりしますが、コケ類や地衣類を見つけても、地味な姿故、興味が薄れてしまいます。そこで、せめて基本的な体のちがいくらい、しっかりとした知識を身につけておきましょう。そうすると、森の中の新しい世界が開けてくるかも知れません。

	種子植物	シダ植物	コケ植物	地衣類
花 (たね) のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ●花をさかせて、たねで子孫をふやす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●花はさかない。 ●胞子でふえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●花はさいても種子植物の花とちがい、おしべ、めしべはない。 ●胞子でふえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●花はさかない。 ●胞子でふえる。
葉 のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ●断面は多くの細胞できでいて厚い。 ●気孔がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●断面は多くの細胞できでいている。 ●気孔がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ほとんど1細胞の厚さしかない。 ●葉の表面から直接水を吸収し気孔はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●葉と茎の区別はない。 ●体は菌糸できでいて、体内に藻類が共生している。
茎 のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ●水や養分の通る管(通導組織)がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●茎はごく短く根茎という。 ●水や養分の通る管(通導組織)がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水や養分の通る管(通導組織)はない。 	
根 のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ●水や養分を吸収する。 ●体を固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水や養分を吸収する。 ●体を固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仮根といい、水や養分はほとんど吸収できない。 ●体を固定するだけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●偽根といい、水や養分はほとんど吸収できない。 ●体を固定するだけ。

(図表の引用：科学アルバム コケの世界 あかね書房)